

【平成 29 年 6 月 2 日】「廃棄物資源循環学会賞 有功賞（技術部門）」を受賞しました。

平成 29 年 6 月 2 日、廃棄物資源循環学会の学会表彰にて「有功賞（技術部門）」を受賞いたしました。平成 22 年から 29 年 3 月まで阪神高速技術（株）の実施する阪神高速道路大和川線のシールド発生土の再生活用事業に対して評価を頂くことになりました。当センターは、建設汚泥や建設汚泥処理土の品質管理手法や ETC-GPS を活用した管理システムの開発運用に対して技術支援をさせて頂き、共同受賞となりました。



<受賞業績名称>

「シールド工事に伴う建設汚泥の再生利用に関する共同事業への取り組み」

<共同受賞者>

阪神高速技術株式会社
一般財団法人関西環境管理技術センター
大阪ベントナイト事業協同組合
東洋建設株式会社

<事業概要>

阪神高速大和川線（全長 9.9Km の自動車専用道路）は、ほとんどが地下構造であり、その約 4 割は泥土圧シールド工法で施工した。当該工法による発生土は、東京都以外では全国的に産業廃棄物（建設汚泥）扱いとなるため処分地に搬出され最終処分するのが一般的である。当該事業は、3 つのシールド現場より排出される約 95 万 m³ のうち約 80 万 m³ という大量の建設汚泥に再資源化処理（中性固化による改質処理、及び分級洗浄処理）を施し、近傍に位置する大阪市港湾局の第 6 貯木場土地造成事業の海面埋立用資材として有効利用したものである。

今後も当センターは、資源循環型社会形成のため、品質管理やトレーサビリティの支援技術を通じて、建設発生土等の有効活用支援を進めてまいります。